

社 報



苦しい時は私の背中を見なさい

ロール釘を輸入

失敗も数々ありましたが、また中国から資材を購入しました。今回はロール釘です。型成会のメンバーに当社と共同して中国から釘を輸入しませんかと呼びかけたところ、8社から申し込みがあり、550箱(約9トン)を輸入することとなりました。

先日倉庫に入荷いたしました、当社通常購入価格より30%前後安く買えたと思います。

今後も安い商品があれば、輸入を続けていきます。



日本女子サッカー日本代表チームがワールドカップを制覇しました。

日本は東日本大地震や原発事故など、暗くなるニュースばかり報道されていましたが、久しぶりに明るいニュースに触れることができました。

日本チームは予選・決勝と試合をこなすにつれ、チームの力が増した感じがしました。決勝の相手チームの選手も、「日本にミラクルが起きた」と、アメリカにとって信じられない敗戦であったと言っていました。

表題の言葉は、日本女子サッカー日本代表チーム(なでしこジャパン)のキャプテンである、澤選手が北京オリンピックの時に、仲間を励ました言葉だそうです。

ひるむことなく、先頭を走り続ける、自他ともに認める実力と、強い精神力がなければ、言える言葉ではありません。

ビジネスの世界でも、皆が力を合わせて頑張らなければならない局面があったとしても、たいていの打合せでは、率先してリーダーを引き受ける人は少ないと思います。

多くの人が、その他大勢の責任の薄い役回りになろうとします。

日常業務を除いて、ビジネスで何かをしようとする時に、成功の確率は低いと思います。人は直感的に、成功の確率が低い場合にはリーダーの役回りを引き受けようとしません。失敗の責任を引き受けたくないからです。しかし、成功の確率が高くて、人はリーダーを避けようとしています。苦勞に見合っただけの処遇が得られないか、苦勞そのものから避けようという判断かも知れません。

成功の時には、そのチームの一員であったとすればそれで満足なのかもしれません。

日本サッカーの女子チームは澤選手のリーダーシップもあり、偉業を成し遂げたとと思います。

リーダーとして挑戦し続けることは大変なことです。

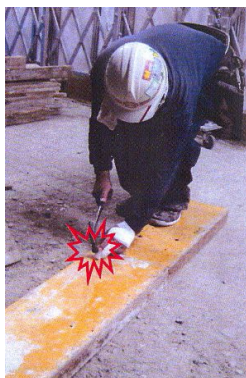
私達も、部下や後輩に、「苦しい時は私の背中を見なさい。」と言えるようになりたいですが……、難しい……、しかし、成功はその先にしか。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

ハンマーで手を打ちました

不休災害が発生しました。事故が事故?だけに、誰がやったとか、どこの現場でやったとかは、言いませんが、ついに、このようなことが事故扱いになってしまいました。

大工さんも手を打たねば熟練しません。熟練した大工さんでも手をうちことはあります。まあ、でも手は打たない方がよろしいです。ご安全に!



2011年 安全成績

■現場災害 H23.1.1-H23.7.29	
休業災害	----- 2
不休災害	----- 1
物損災害	----- 0
その他	----- 0
合計	----- 3
■交通災害 H23.1.1-H23.7.29	
人身災害	----- 0
物損災害	----- 1
合計	----- 1